

音楽, 図画工作, 美術, 工芸, 書道の 指導におけるICTの活用について


表現及び鑑賞の活動を通して、**感性や創造性を豊かにし、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育む**ことを目指す。授業改善の手段として、ICTを積極的・効果的に活用することが重要。

実際に見る、聴く、触れるなどの身体感覚を働かせて学習する活動とICTを活用する活動を、学習のねらいに応じて教師が見極めて、適切かつ効果的に活用することが重要。

小学校音楽科の指導における ICTの活用について

ICTの利点 音楽を音声と画面との両方で確認できる

- 聴覚だけでなく視覚などを働かせながら，音楽表現を工夫したり，音楽を聴き深めたりしていくことができる



様々な感覚を働かせ，音楽科の学習の特質に合わせた活用を行っていくことが重要

表現の学習における活用場面

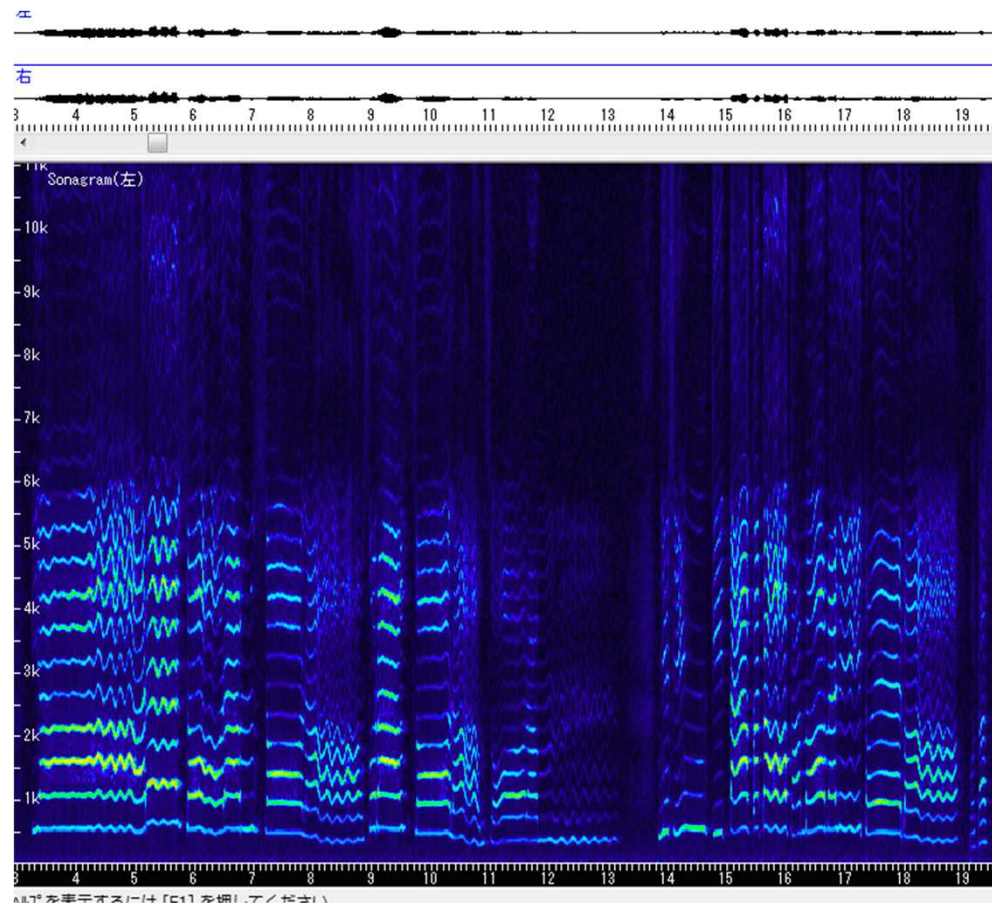
- デジタルオーディオレコーダー，デジタルビデオカメラ等を利用した歌や演奏の記録
- 記録した自分たちの歌や演奏を聴いたり見たりして確認し，音楽表現を工夫していく。

一人一台になったら...

ワークシートとともに実際の演奏などを記録に残し，音や動画を取り込んだ学習のポートフォリオとして活用することが考えられる。

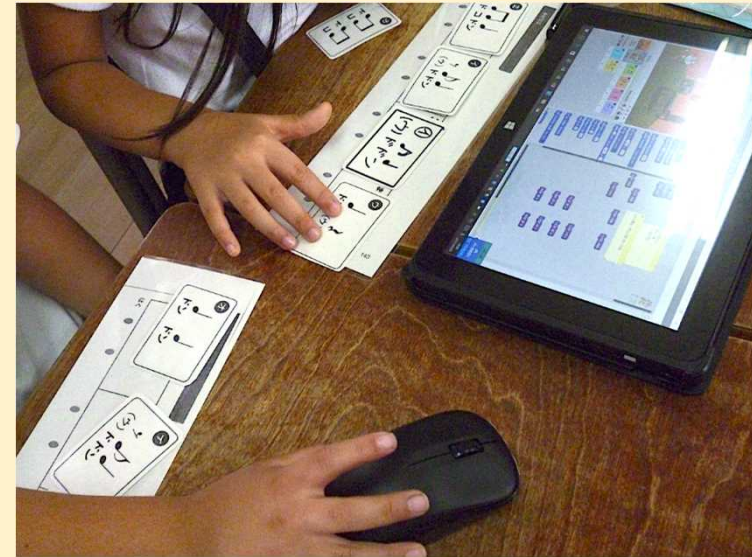
表現の学習における活用場面

- ソフトウェア（サウンドスペクトログラム）による音の可視化
- お手本の歌い方（範唱）と自分たちの歌い方を音声と画面で比較し、音楽表現を工夫していく。



表現の学習における活用場面

- リズムカードを並び替え、反復や変化などを工夫して音楽をつくる活動
 - PCで音を聴いて確かめながら試行錯誤していく。PCで再生した音楽を手本にしてリズムを手で打つ。



- ループするリズムをどう組み合わせるかを考える活動
 - つくったリズムループを、PCの画面と音で確かめながら、つなげ方の特徴やその面白さを考える。

鑑賞の学習における活用場面

- グループごとに、分割された鑑賞曲の音源を聴きながら、正しい演奏の順番を考え、音源を並び替える。
- 作曲家が工夫した音楽のよさを感じ取る。



一人一台になったら...

自分が気になったところを何度でも繰り返し聴くことで、より深く音楽のよさを感じ取ることにつながる。

新しいICT機器やソフトウェアは便利な機能が豊富に搭載されたものが多いが、これらの機能の中には、授業では不要なものも含まれている場合も。

- 授業のねらいに応じて、ICTの多彩な機能の中から厳選し絞り込んで用いる。

児童の感覚を十分に働かせたり、思考を活性化したり、工夫を促進したりすることができるよう配慮。

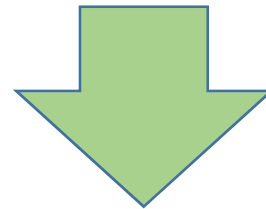
中学校音楽科，高等学校芸術科（音楽） の指導におけるICTの活用について

音や音楽

=

終了すると音響として
存在しなくなる

視聴覚機器の活用



ICT機器の活用

様々な感覚を結び付けて理解を深める
主体的に学習に取り組む

参考：中等教育資料7月号「新学習指導要領とICTの効果的な活用」(解説 音楽, 美術, 芸術(音楽, 美術, 工芸, 書道)) (令和元年7月)

音や音楽を記録し, 記録した音楽を再現する

音や音楽を可視化する

楽譜等で表した音楽を実際の音で表す

演奏を聴き返す

**様々な活用方法があり
目的に応じて効果的に活用**

中学校音楽科, 高等学校芸術科(音楽)の指導におけるICTの活用例

中学校 音楽

高等学校芸術(音楽)

A表現(歌唱)

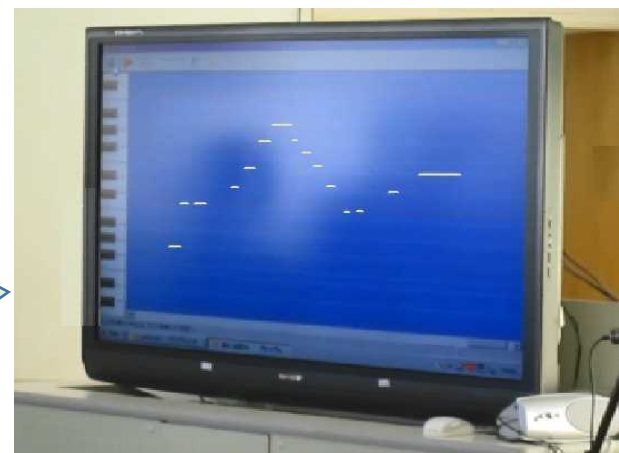
A表現(器楽)

知識や技能を得たり生かしたりしながら
音楽表現を創意工夫する場面



自分の演奏やグループの演奏を,
録音・録画し,それを再現しな
がら音楽表現を創意工夫する。

自分の音を目で見て確認し,技
能習得の過程や,修正の方向性
を確認する。



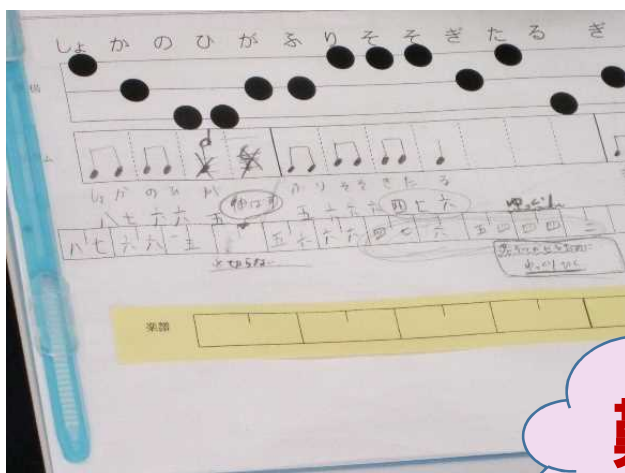
中学校音楽科, 高等学校芸術科(音楽)の指導におけるICTの活用例

中学校 音楽

高等学校芸術 (音楽)

A表現 (創作)

知識や技能を得たり生かしたりしながら
音楽表現を創意工夫する場面



難しい...

ICT機器の活用によって, 実際の音で確認しながら
創作表現を創意工夫することができる。

中学校音楽科, 高等学校芸術科(音楽)の指導におけるICTの活用例

中学校 音楽

高等学校芸術(音楽)

A表現(創作)

知識や技能を得たり生かしたりしながら
音楽表現を創意工夫する場面



- ・ 楽器の音色を変化させる
- ・ 複数の楽器の音色を重ねる
- ・ 楽器の組合せを変化させる

音色に対するより豊かなイメージをもちながら創作表現を創意工夫することができる。

中学校音楽科, 高等学校芸術科(音楽)の指導におけるICTの活用例



中学校音楽科, 高等学校芸術科(音楽)の指導におけるICTの活用例

中学校 音楽

高等学校芸術(音楽)

B鑑賞

知識を得たり生かしたりしながら
音楽のよさや美しさを見いだす場面



一人一台に
なったら...

自分が聴きたい
部分を何度でも
聴ける

演奏を繰り返し聴いたり, 部分を取り出して注意深く聴き返したりすることができる。

知識及び技能

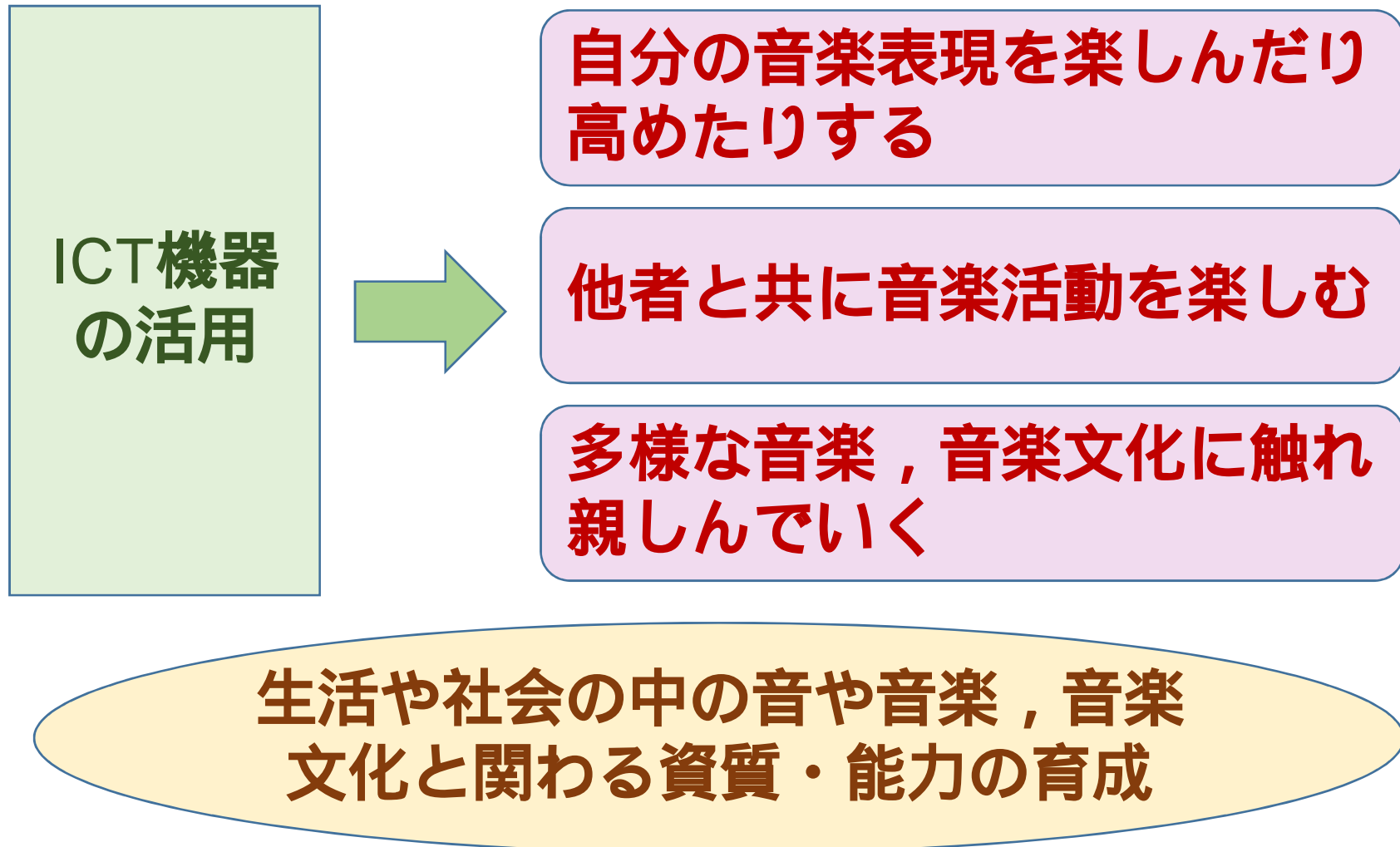
- 曲想と音楽の構造との関わりについての理解を促す
- 声や楽器の音を客観的に捉え, 課題に対する気づきを促す

**思考力,
判断力,
表現力等**

- 表したい音楽表現についての思いや意図(表現意図)をもつことを促す

など, ICT機器を資質・能力の育成に効果的に活用

参考: 中等教育資料7月号「新学習指導要領とICTの効果的な活用」(解説 音楽, 美術, 芸術(音楽, 美術, 工芸, 書道))(令和元年7月)



参考: 中等教育資料7月号「新学習指導要領とICTの効果的な活用」(解説 音楽, 美術, 芸術(音楽, 美術, 工芸, 書道))(令和元年7月)

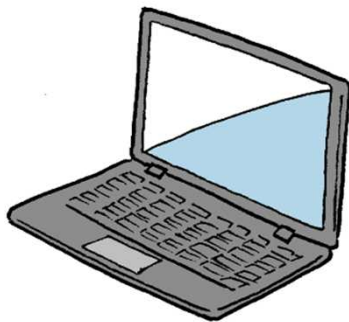
小学校図画工作科の指導における ICTの活用について

表現及び鑑賞の活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成する

学習過程でICTを活用

表現 （感じたことや想像したことなどを造形的に表す）

鑑賞 （作品などからそのよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深める）



- **資質・能力の育成**と関連付けて活用
- **感性や想像力**を働かせる場面を大切にして活用
- **発達の段階や経験**に応じて適切に活用



実際にものに触れたり見たりすることが、
図画工作科の資質・能力の育成において重要

→ 学習のねらいに応じて**必要性を十分に検討し**、
活用すること

感じたことや想像したことなどを造形的に表す表現 **造形遊び**

- ・ 造形的な活動ができそうな場所を探す
- ・ 候補の場所をデジタルカメラやタブレット型端末で撮影 **相談の資料に**



小学校図画工作科の指導におけるICTの活用例

感じたことや想像したことなどを造形的に表す表現 **造形遊び**



作品や自分たちの活動をデジタルカメラやタブレット型端末で撮影

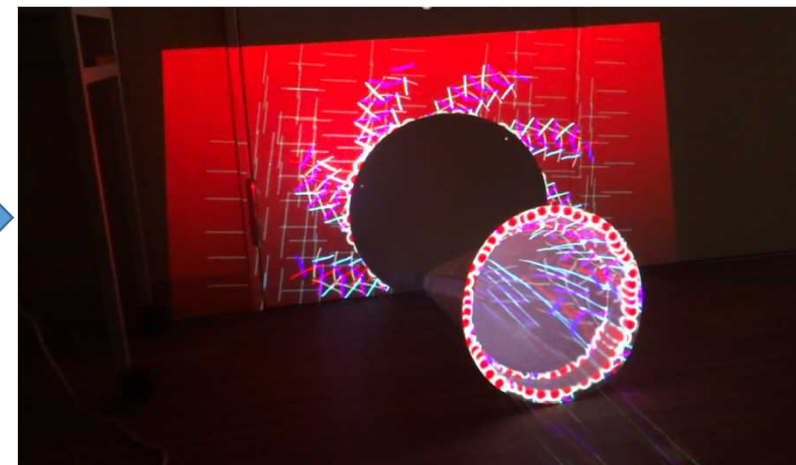
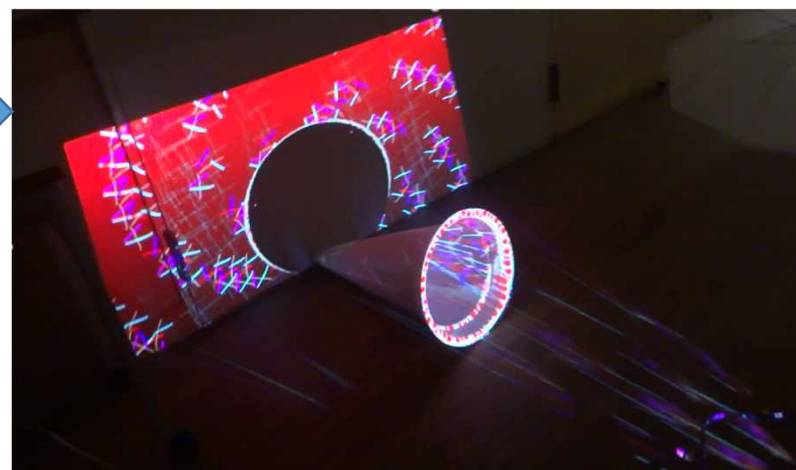
新たな発想や構想をすることのきっかけに



小学校図画工作科の指導におけるICTの活用例

感じたことや想像したことなどを造形的に表す表現 造形遊び

コンピュータでつくった動くもようを場所や空間に映す
造形的な活動を思い付き、活動を工夫してつくる際に活用



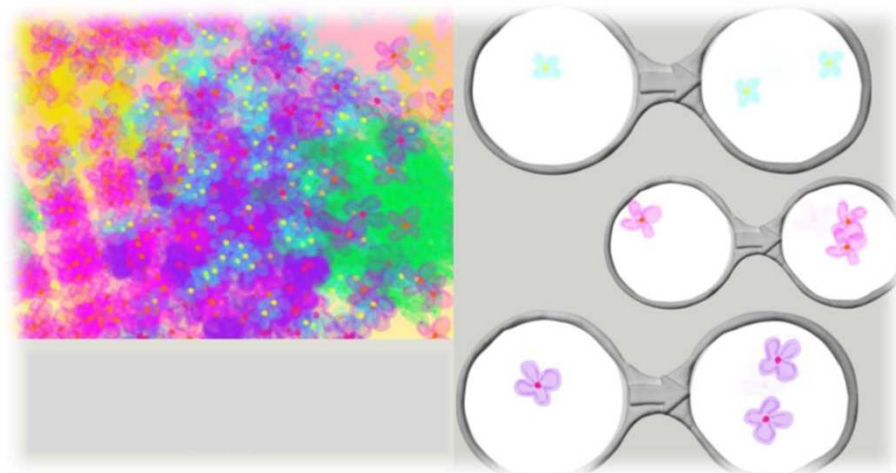
小学校図画工作科の指導におけるICTの活用例

感じたことや想像したことなどを造形的に表す表現 **絵に表す**



形や色，コンピュータの特長，
構成の美しさなどの感じを考え
ながら，表現に適した方法など
を組み合わせたりする

－ **動くもよう**をつくる際に活用

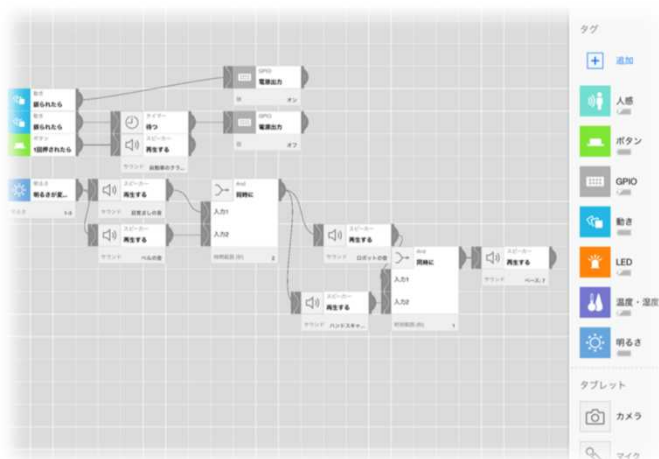


小学校図画工作科の指導におけるICTの活用例

感じたことや想像したことなどを造形的に表す表現 **工作に表す**



プログラミングの機能から、**表したいことを見付け**、形や色、コンピュータの特長、構成の美しさなどの感じを考えながら、段ボールで**表し方を工夫して**工作に表す際に活用



よさや美しさを感じ取ったり考えたりし，見方や感じ方を深める 鑑賞

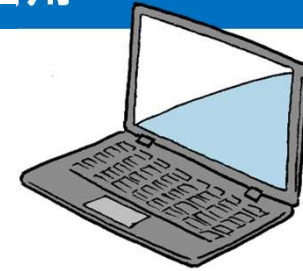
あらかじめタブレット型端末などに取り込んでおいた美術作品の画像をテレビやスクリーンに映し出す

「思考力，判断力，表現力等」の育成

に効果的に活用



表現や鑑賞で使う**用具**として



- 何度でもやり直したり、色を変えたり様々に試しながら表現の可能性を広げていく
- 作品に関する情報を検索する
- 身近にある形や色などのよさや美しさや自分たちの活動を記録
- 撮影した写真を材料として表現に活用



学習のねらいに応じて**必要性を十分に検討し**、活用すること



文部科学省

中学校美術科，高等学校芸術科（美術，工芸） の指導におけるICTの活用について



ICTを活用する 学習活動

実物を見たり, 実際に対象に触れたりするなどして感覚で直接感じ取らせる学習活動

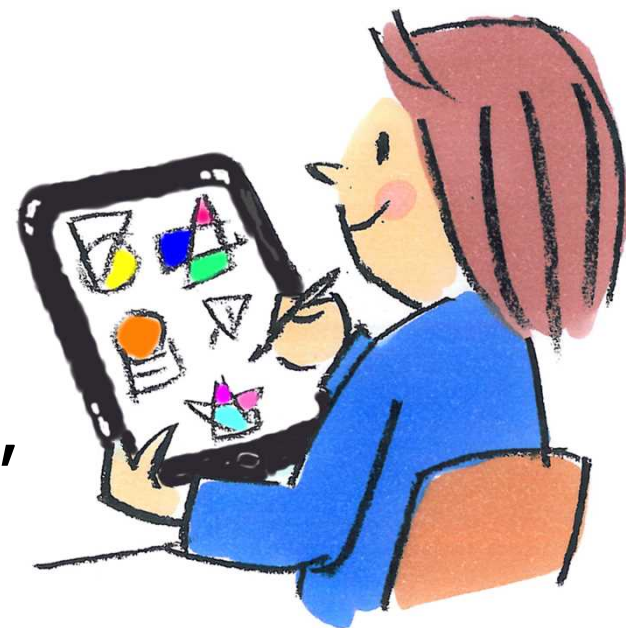




学習効果を高めるために、電子黒板や視聴覚機器などを用いて表現方法等を提示する

「A表現」

生徒一人一人の美術や工芸の表現の可能性を広げるために、コンピュータ等の特質を生かした活用を積極的に行う



中学校美術科, 高等学校芸術科(美術, 工芸)の指導におけるICTの活用例

中学校美術科

タブレット型のコンピュータを活用したアニメーションの制作



中学校美術科, 高等学校芸術科(美術, 工芸)の指導におけるICTの活用例

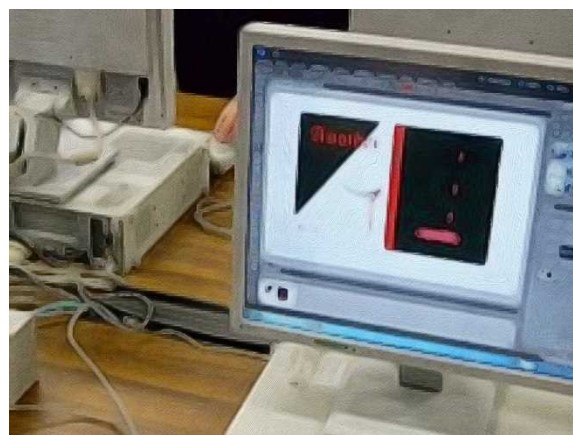
高等学校芸術科(美術)

映像メディアとネットワークを活用した表現の学習活動



高等学校芸術科(美術)

コンピュータを活用した「ブックカバーのデザイン」の制作

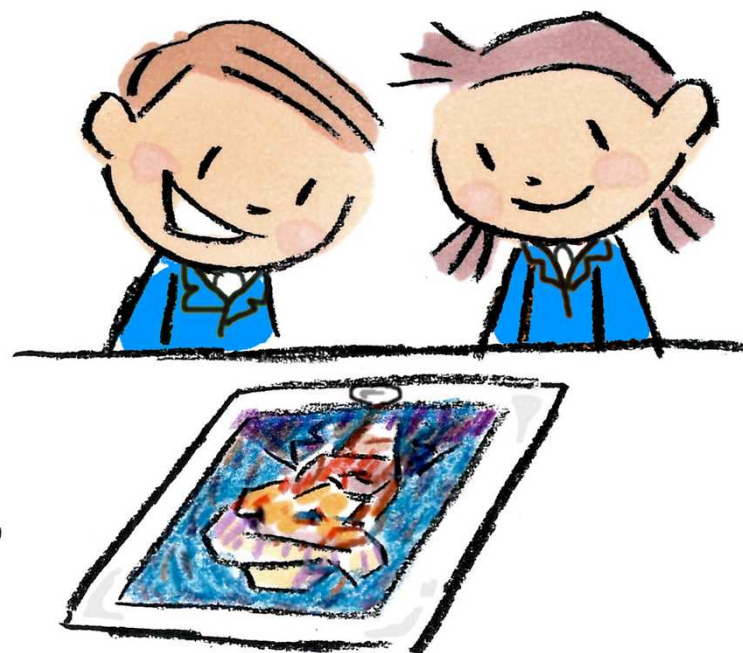




実物と直接向かい合い,
作品のもつよさや美し
さについて実感を伴い
ながら鑑賞する

「B鑑賞」

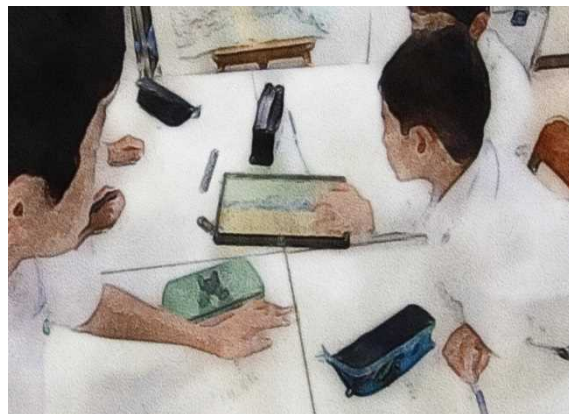
コンピュータなどの画像や
映像などを使ったり, ネット
ワークを活用したりして,
効果的に鑑賞指導を進める



中学校美術科, 高等学校芸術科(美術, 工芸)の指導におけるICTの活用例

中学校美術科

タブレット型のコンピュータを活用した鑑賞の学習活動



高等学校芸術科(工芸)

ネットワークを活用した鑑賞の学習活動



知識及び技能



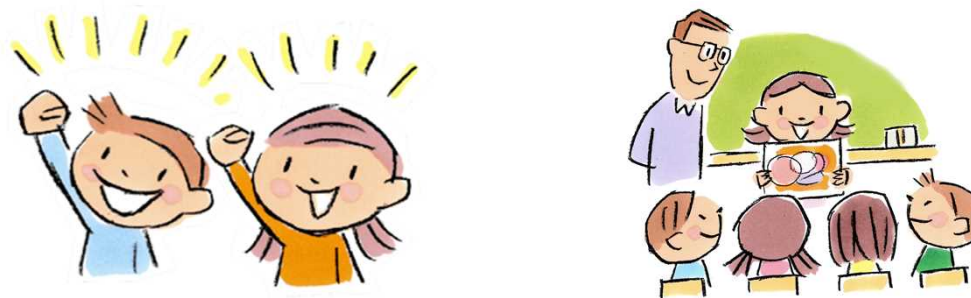
造形的な視点を豊かにするための知識, 創造的に表す技能

思考力,
判断力,
表現力等



発想や構想, 鑑賞に関する資質・能力

学びに
向う力,
人間性等



学びに向かう力や人間性等

高等学校芸術科（書道）の指導における ICTの活用について

高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用

新学習指導要領とICTの効果的な活用

書道においては、**用具・用材の特質・特性を体感したり、実物と直接向き合ったりする学習活動**と、**ICTを活用する学習活動**とを、**学習内容やその段階に応じて適切に関連付けながら、効果的に指導できるよう工夫**することが重要である。

「A表現」では、「B鑑賞」との関連を図る上で、コンピュータやプロジェクタ、大型モニター等の様
範言
る筆な
る。
映像
の共有
やその変容の比較・検証に主体的に取り組めるポートフォリオは、書道におけるICT活用の好例と
言える。
映像撮
とは、書
「B鑑
上で、映像機器や画像・映像教材を有効に活用することが求められる。「A表現」での生徒の制
作過程
と直接
につい
鑑賞活

**用具・用材の特質・特性を体感したり、
実物と直接向き合ったりする学習活動**

**学習内容やその段階に応じて適切に関連付けながら、
効果的に指導できるよう工夫**

ICTを活用する学習活動

高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

自身の制作過程での運筆の動画を撮影



全体で共有し、意見交換・相互批評



自身の作品を撮影



自身の制作過程の動画、教員の示範動画を活用した学習



自身の作品を撮影



高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

全体で共有し，意見交換・相互批評



高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

自身の制作過程での運筆の動画を撮影



記録・蓄積

全体で共有し、意見交換・相互批評



共有・対話・交流

自身の作品を撮影



自身の制作過程の動画，教員の示範動画を活用した学習



思考・判断
主体的取組

ICTを活用することで・・・

制作過程における運筆，筆などの運動を記録・蓄積し，客観視したり，ポートフォリオとして学習成果や変容の比較・検証に主体的に取り組むことに有効。


一人一台のカメラ付きのタブレット型コンピュータ等が必須。

記録した動画や画像をクラス全体で共有（鑑賞）し，意見交換や相互批評等の言語活動を，全体での対話・交流へと充実・発展させるのに有効。

高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

感じ方や捉え方の共有, 個々に設定した課題の共有

「高1書道 鑑賞」- A4横 - (みんなに見せる, みんなと書く) 03 書道F



<p>文字の太さ、墨のかしこし具合など書風に合った書だと思ふ。また、ほとんどの画がつながって書かれており字の流れを感じた</p> <p>筆力が強く、サラッとした印象を受けた。全体的に流らかな書風だと思ふ。</p> <p>あまり角ばっていない、丸みを感じた。筆の最後の筆すばって、神の最後の筆すばって、</p> <p>一画一画が繋がってて線が流れるイメージ、曲線ばかりで柔らかさがある</p> <p>全体的に丸くやわらかい印象。</p> <p>漢字にあるかくかくした感じがあまりないと思った。流くところは抜いて、入れるところは入れている。</p> <p>神は最後の画にスピードを感じる。字が結構離れていて独特な字形。</p> <p>さらさらと書かれているイメージ、字体は丸くて優しい</p> <p>流れるように柔らかい雰囲気。</p> <p>角がなく、丸みのある字形だなと思った。つながりが多く見え、流れるような印象を受けた。</p> <p>文化に書んでおり、筆力がある。力と速さを兼ね備えた作品だと思ふ。</p> <p>「神」の字の最後の画が思いっきりびていてとてもインパクトのあるかっこいい字だと思ふ。「神」はやわらかく書きずらそうだと思ふ。</p>		<p>筆力をつけること。画と画とのつながりを意識して、「さらさら」という音が聞こえてきそうなくらい流れを意識して書く。 75%</p> <p>楷書から抜ける、緩く書く、筆の運びを意識する 大70~80%</p> <p>つながりを意識して、既習書の0%</p> <p>曲線の意識をもって角ばった形を脱却する。前問から引き続き、速さと筆勢にも意識したい。 70%</p> <p>やわらかさと流れを再現できるようにする。 90%</p> <p>筆力が課題、腕を大きく動かして書く。 50%</p> <p>字の流れを見失わないように筆の動きを感じつつ筆勢をつけて書く。</p> <p>流れとこの柔らかさを合わせるが 70%</p> <p>スピード感をもって、流れるような用筆を意識する。 90%</p> <p>筆を早く動かして流れるように意識する。</p> <p>全部の字を流線ではなく曲線で表現できるようにしていきたい。 80%</p> <p>今回の課題は筆勢である。自分の持ち味である字の柔らかさを維持しながらインパクトのある書体になると思ふ。 80%</p>
--	---	--

第一印象

解決したい課題/達成度

意見交換・相互批評 (ICTを活用した言語活動)

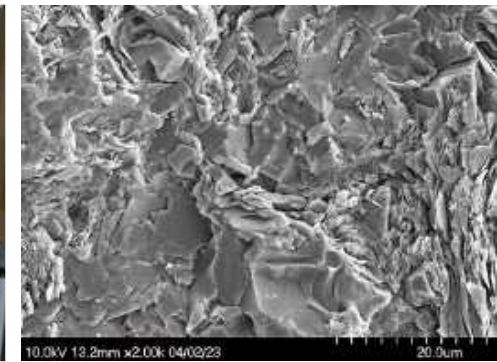
「高1書道 みんなの「道」」- A4横 - (みんなに見せる, みんなと書く) 06 書道作品共有6「みんなの」

<p>力強く、そして優しく見せるために線は太く、字形は丸くなるように意識して書いた。</p> <p>筆の部分が丸まった字で書かれていて面白い工夫だと思ふ。最後のほらひが力強くとても綺麗だと思ふ。</p> <p>太さが均一で整った感じを出しながら一画一画の間隔がゆるやかなのでやわらかく感じた感じがして素敵だと思ふ。</p>		<p>流れるような細くしなやかなで、メリハリのある線を書くことができた。本来つながっている線も、分けて書くことで、躍動感があるわらわ。</p> <p>独特な書風で、流動感がありながらも角やかさを帯びている字であると感じた。字のびのびとしてとても良い字だと思ふ。自分にはない書風で参考にした。</p> <p>かすめる字でアクティブな字になっています。今にも動き出しそうなおもしろい字です。 1E6番</p>
<p>楷書に近いような書体を目指し、太く安定した線になるようにした。しかし、独自性も入れようと思ふ。太い線は筆尾にして、楷書の安定感を残しつつ、他とは少し違う道になったのかな、と思ふ。</p> <p>太い線によって重厚感がうまく表現されていて、最後の太い筆尾で他にはない個性が表現された道になっていていい。 1E内番</p> <p>一画一画、遅くながった字体になっていて強い感じが表現されていていいなと思ふ。</p>		<p>どっしりと重みのある「道」となるように、太く横線を書いた。また、しんじょうの勢を上げ自分なりに工夫し、他とは違う「道」にした。</p> <p>しっかりと重みのある形で書いていると思ふ。流し感が出ていていいと思ふ。</p> <p>丸く書くしっとりかけていていいと思ふ。線が全体的に丸くなっていて流々としたような書風が出ていていいと思ふ。</p>
<p>自信をもって自分の道を述べるという意を込め、太く強い道を書いた。太さの線息がついた字を書くことができた。</p> <p>堂々とした、力強い道という印象を受けました。その中にもほっそりとした優しい部分があり、表裏一体の面もあると思ふ。とても想像を深められる興味深い作品です。</p> <p>とても力強く、自信を持ち、堂々とした道になっていてとても平穏感が出ていて面白い</p>		<p>流れるように、さらさらとした「道」を表現したいと思ふ。線が流れてきたと思ふ。</p> <p>川のように流れるような筆の運びをしつつも全体のバランスを崩さず、整った形をしていて美しい。</p> <p>それぞれの画が、次の画につながって書かれていてよいと思ふ。特に、1画目と2画目、3画目の太さと形がとてもきれいだ。</p>

インターネットの活用



硯面の電子顕微鏡拡大画像




インターネットを活用した表現(創作)活動



高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

感じ方や捉え方の共有，個々に設定した課題の共有







「高1書道鑑賞」- A4横 - (みんなに見せる、みんなと書く)		03 書道F
<p>文字の太さ、墨のカスれ具合など抑揚に富んだ書だ と思う。また、ほとんどの画が繋がって書かれて おり字の流れを感じた</p>		<p>抑揚をつけること。画と画とのつながりを意識して、 「さらさら」という音が聞こえてきそうなくらい流れ を意識して書く。 75%</p>
<p>抑揚が強く、サラッとした印象を受けた。全体的に 柔らかな用筆だと思う。</p>		<p>楷書から抜ける、軽く書く、筆の運びを意識する 大 70~80%</p>
<p>あんまり角ばってなく、丸字感が強い。 神の最後の画がぱっと。</p>		<p>つながりを意識して、脱楷書。 60%</p>
<p>一画一画が繋がっていて線が流れるイメージ。曲 線ばかりで柔らかさがある</p>		<p>曲線の意識をもって角ばった形を脱却する。封固から 引き続き、速さと抑揚にも意識したい。 70%</p>
<p>全体的に丸くやわらかい印象。</p>		<p>やわらかさと流れを両現できるようにする。 90%</p>
<p>漢字にあるかくかくした感じがあまりないなと思っ た。抜くところは抜いて、入れるところは入れている。</p>		<p>抑揚が課題。腕を大きく動かして書く。 50%</p>
<p>神は最後の画にスピードを感じる。字が結構曲されて いて独特な字形。</p>		<p>字の流れを見失わないように筆の動線を感じつつ抑揚 をつけて書く。</p>
<p>さらさらと書かれているイメージ、字体は丸くて優 しい</p>		<p>流れとこの柔らかさを出せるか 70%</p>
<p>流れるようで柔らかい雰囲気。</p>		<p>スピード感をもって、流れるような用筆を意識する。 90%</p>
<p>角がなく、丸みのある字形だなと思った。つながり が多く見え、流れるような印象を受けた。</p>		<p>筆を早く動かして流れるように意識する。</p>
<p>実化に富んでおり、抑揚がある。力と速さを兼ね備 えた作品だと思う。</p>	<p>全部の字を直線ではなく曲線で表現できるようにして いきたい。 80%</p>	
<p>「神」の字の最後の画が思いっきり伸びてとて もインパクトのあるかっこいい字だと思った。 「融」はやわらかく書きづらそうだと思った。</p>	<p>今回の課題は抑揚である。自分の持ち味である字の柔 らかさに抑揚が加わればインパクトのある書体になる と思う。 80%</p>	
<p>第一印象</p>	<p>解決したい課題／達成度</p>	

高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

意見交換・相互批評 (ICTを活用した言語活動)

「高1書道 みんなの「道」」- A4横 - (みんなに見せる、みんなと書く)


06 書道作品共有6「みんなの

<p>E</p> <p>力強く、そして優しく見せるために線は太く、字形は丸くなるように意識して書いた。</p> <p>首の部分が丸まった字で書かれていて面白い工夫だと思った。最後のはらいが力強くとても綺麗だと思う。</p> <p>太さが均一で整った感じを出しながらも一画一画の関節がゆるやかなのでやわらかくくだけた感じがして素敵だと思いました。</p>			<p>E</p> <p>流れるような細くしなやかで、メリハリのある線を書くことができた。本来つながっている線も、分けて書くことで、躍動感をあらわした。</p> <p>独特な書風で、流動感があり何か爽やかさを帯びている字であると感じた。字がのびのびとしていても良いと感じた。自分にはない書風で参考にした。</p> <p>かすれる字体でアクティブな字になっています。今にも動き出しそうな楽しい道です。 1E名倉</p>
<p>E</p> <p>楷書に近いような書体を目指し、太く安定した道になるようにした。しかし、独自性も入れようと最後の払いを燕尾にして、楷書の安定感を残しつつ、他とは少し違う道になったのかな、と思う。</p> <p>太い線によって重厚感がうまく表現されていて、最後の払いの燕尾で他にはない独自性が表現された道になっていていい [内藤]</p> <p>一画一画、狭くつながった字体になっていて強い感じが表現されていていいなと思った。</p>		<p>F</p> <p>どっしりと重みのある「道」となるように、太く横長に書いた。また、しんにょうの跳ね上げを自分なりに工夫し、他とは違う「道」にした。</p> 	<p>しっかりと重みのある形で書けていると思います。柔い感じが出ていていいと思います。</p> <p>丸く重くしっとりとかけていていいと思います。線が全体的に丸くなっていて流れずような筆感が出ていていいと思います。</p>
<p>E</p> <p>自信をもって自分の道を進むという意を込め、太く強い道を書いた。太さの躍急がついた字を書くことができた。</p> <p>堂々とした、力強い道という印象を受けました。その中にもほっそりとした優しい部分があり、表裏一体の面もあると考えました。とても想像を深められる興味深い作品です。</p> <p>とても力強く、自信を持ち、堂々とした道になっていてとても平井君感が出ていて面白い</p>			<p>F</p> <p>流れるように、さらっとした“道”を表現したいと思って書きました。軽い感じが表現できたと思います。</p> <p>川のように流れるような筆の運びをしつつも全体のバランスを崩さず、整った形をしていて美しい。</p> <p>それぞれの画が、次の画につながって書かれていてよいと思いました。特に、1画目と2画目、11画目の太さと形がとてもきれいです。</p>

高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

感じ方や捉え方の共有，個々に設定した課題の共有

「高1書道 鑑賞」- A4横 - (みんなに見せる、みんなと書く) 03 書道F

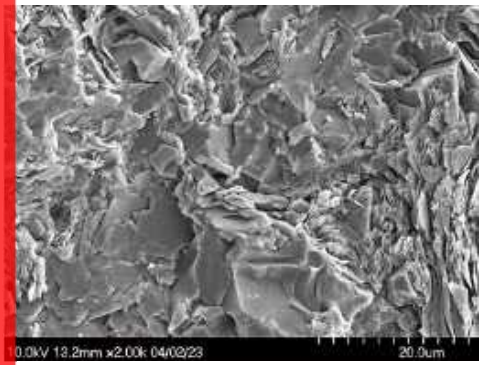
<p>文字の水さ、墨のかし具合など書風に富んだ書だと思ふ。また、ほとんどの画が繋がって書かれており字の流れを感じた。</p> <p>筆力が強く、サラッとした印象を受けた。全体的に柔らかな用筆だと思ふ。</p> <p>あまり角ばっていない、丸みを感じる。筆の最後の画すばっと。</p> <p>一画一画が繋がっていて線が流れるイメージ、曲線ばかりで柔らかさがある。</p> <p>全体的に丸くやわらかい印象。</p> <p>漢字にあるかくかくした感じがあまりないと思った。抜くところは抜いて、入れるところは入れている。</p> <p>筆は最後の画にスピードを感じる。字が結構離れていて独特な字形。</p> <p>さらさらと書かれているイメージ、字体は丸くて優しい。</p> <p>流れるように柔らかい雰囲気。</p> <p>角がなく、丸みのある字形だなと思った。つながりが多く見え、流れるような印象を受けた。</p> <p>変化に富んでおり、筆線がある。力と速さを兼ね備えた作品だと思ふ。</p> <p>「神」の字の最後の画が思いっきりひいてとてもインパクトのあるかっこいい字だと思ふ。「動」はやわらかく書きすらすらそう思った。</p>		<p>筆線をつけること。画と画とのつながりを意識して、「さらさら」という筆が聞こえてきそうなくらい流れを意識して書く。 75%</p> <p>楷書から抜ける、軽く書く、筆の運びを意識する。大 70~80%</p> <p>つながりを意識して、既習書。の0%</p> <p>曲線の意識をもって角ばった形を脱却する。前問から引き続き、速さと筆線にも意識したい。 70%</p> <p>やわらかさと流れを再現できるようにする。90%</p> <p>筆力が課題、腕を大きく動かして書く。 50%</p> <p>字の流れを見失わないように筆の勢を感じつつ筆線をつけて書く。</p> <p>流れとこの柔らかさを合わせるが 70%</p> <p>スピード感をもって、流れるような用筆を意識する。90%</p> <p>筆を早く動かして流れるように意識する。</p> <p>全部の字を筆線ではなく曲線で表現できるようにしていきたい。 80%</p> <p>今回の課題は筆線である。自分の持ち味である字の柔らかさと筆線が合わればインパクトのある書体になると思う。 80%</p> <p>解決したい課題/達成度</p>
--	---	--

第一印象

インターネットの活用



硯面の電子顕微鏡拡大画像






インターネットを活用した表現(創作)活動



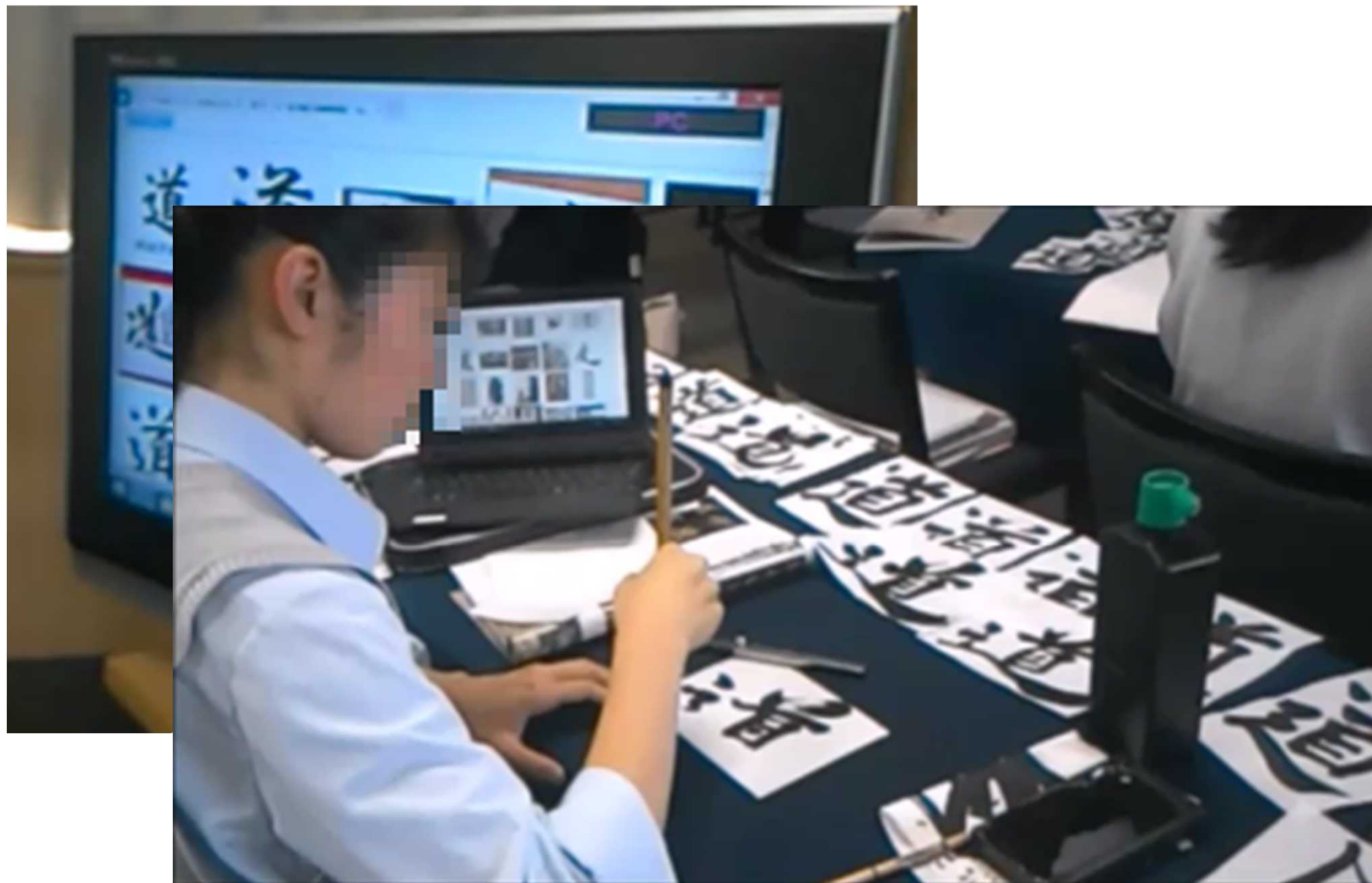
意見交換・相互批評 (ICTを活用した言語活動)

「高1書道 みんなの「道」」- A4横 - (みんなに見せる、みんなと書く) 06 書道作品共有6「みんなの道」

<p>力強く、そして癒されるために線は太く、字形は丸くなるように意識して書いた。</p> <p>筆の部分が丸まった字で書かれていて面白い工夫だと思った。最後の画が力強くとても綺麗だと思ふ。</p> <p>太さが均一で整った感じを出しながら一画一画の間隔がゆるやかなのでやわらかく感じた感じが素敵だと思いました。</p>		<p>流れるような細くしなやかな、メリハリのある線を書くことができた。本来つながっている線も、分けて書くことで、躍動感をあらわした。</p> <p>独特な書風で、流動感がありながらも力やかまを帯びている字であると感じた。字のひびのびとしていても良いと感じた。自分にはない書風で参考にした。</p> <p>かすめる字でアクティブな字になっています。今にも動き出しそうな楽しい書です。 1E6金</p>
<p>楷書に近いような書体を目指し、太く安定した線になるようにした。しかし、独自性も入れようと筆先の払いの意図にして、楷書の安定感を残しつつ、他とは少し違う線になったのかな、と思ふ。</p> <p>太い線によって重厚感がうまく表現されていて、最後の払いの意図で他にはない独自性が表現された道になっていていい。E内書</p> <p>一画一画、深くとがった字体になっていて強い感じが表現されていていいなと思った。</p>		<p>どっしりと重みのある「道」となるように、太く横線を書いた。また、しんじょうの勢を上げを自分なりに工夫し、他とは違う「道」にした。</p> <p>しっかりと重みのある形で書いていると思います。美しい感じが出ていていいと思います。</p> <p>丸く書くしっとりかけていていいと思います。線が全体的に丸くなっていて流れるような感じが出ていていいと思います。</p>
<p>自信をもって自分の道を述べるという意図込み、太く強い道を書いた。太さの調整がよかった字を書くことができた。</p> <p>堂々とした、力強い道という印象を受けました。その中にもほっそりとした優しい部分があり、表裏一体の面もあると考えました。とても想像を深められる興味深い作品です。</p> <p>とても力強く、自信を持ち、堂々とした道になっていてとても平穏感が出ていて面白い。</p>		<p>流れるように、さらさらとした「道」を表現したいと思って書きました。軽い感じが表現できたと思います。</p> <p>川のように流れるような筆の運びをしつつも全体のバランスを崩さず、整った形をしていて美しい。</p> <p>それぞれの画が、次の画につながって書かれていていいと思いました。特に、1画目と2画目、1画目の太さと形がとてもきれいです。</p>

高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

インターネットの活用




インターネットを活用した表現(創作)活動

高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

感じ方や捉え方の共有, 個々に設定した課題の共有

「高1書道 鑑賞」- A4横 - (みんなに見せる, みんなと書く) 03 書道F

<p>文字の太さ、墨のかしこみ具合など書風に富んだ書だと思ふ。また、ほとんどの画がつながって書かれており字の流れを感じた。</p> <p>筆跡が強く、サラッとした印象を受けた。全体的に柔らかな書風だと思ふ。</p> <p>あまり角ばっていない。丸みを感じる。筆の最後の画すばっと。</p> <p>一画一画がつながっていて線が流れるイメージ。曲線ばかりで柔らかさがある。</p> <p>全体的に丸くやわらかい印象。</p> <p>漢字にあるかくかくした感じがあまりないと思った。抜くところは抜いて、入れるところは入れている。</p> <p>筆は最後の画にスピードを感じる。字が結構細く流れていて独特な字形。</p> <p>さらさらと書かれているイメージ。字体は丸くて優しい。</p> <p>流れるように柔らかい書風。</p> <p>角がなく、丸みのある字形だなと思った。つながりが多く見え、流れるような印象を受けた。</p> <p>変化に富んでおり、筆跡がある。力と速さを兼ね備えた作品だと思ふ。</p> <p>「神」の字の最後の画が思いっきりひいてとてもインパクトのある感じがいい字だと思ふ。「動」はやわらかく書きすらすらそうだと思ふ。</p>		<p>筆跡をつけること。画と画とのつながりを意識して、「さらさら」という筆が聞こえてきそうなくらい流れる意識で書く。 75%</p> <p>楷書から抜ける。軽く書く。筆の運びを意識する。大 70~80%</p> <p>つながりを意識して、既習書。の0%</p> <p>曲線の意識をもって角ばった形を脱却する。前問から引き続き。速さと筆跡にも意識したい。 70%</p> <p>やわらかさと流れを再現できるようにする。 90%</p> <p>筆跡が課題。腕を大きく動かして書く。 50%</p> <p>字の流れを見失わないように筆の勢を感じつつ筆跡をつけて書く。</p> <p>流れとこの柔らかさを合わせるが 70%</p> <p>スピード感をもって、流れるような用筆を意識する。 90%</p> <p>筆を早く動かして流れるように意識する。</p> <p>全部の字を筆跡ではなく曲線で表現できるようにしていきたい。 80%</p> <p>今回の課題は筆跡である。自分の持ち味である字の柔らかさと筆跡が合わればインパクトのある書体になると思う。 80%</p>
--	---	---

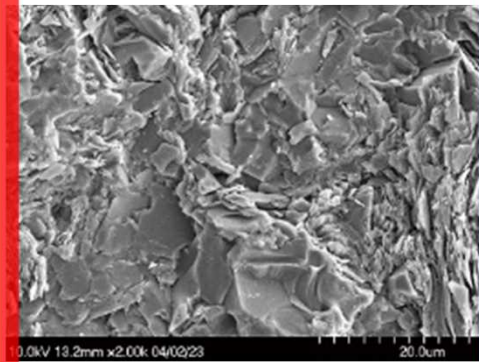
第一印象

解決したい課題/達成度

インターネットの活用



視面の電子顕微鏡拡大画像



インターネットを活用した表現(創作)活動



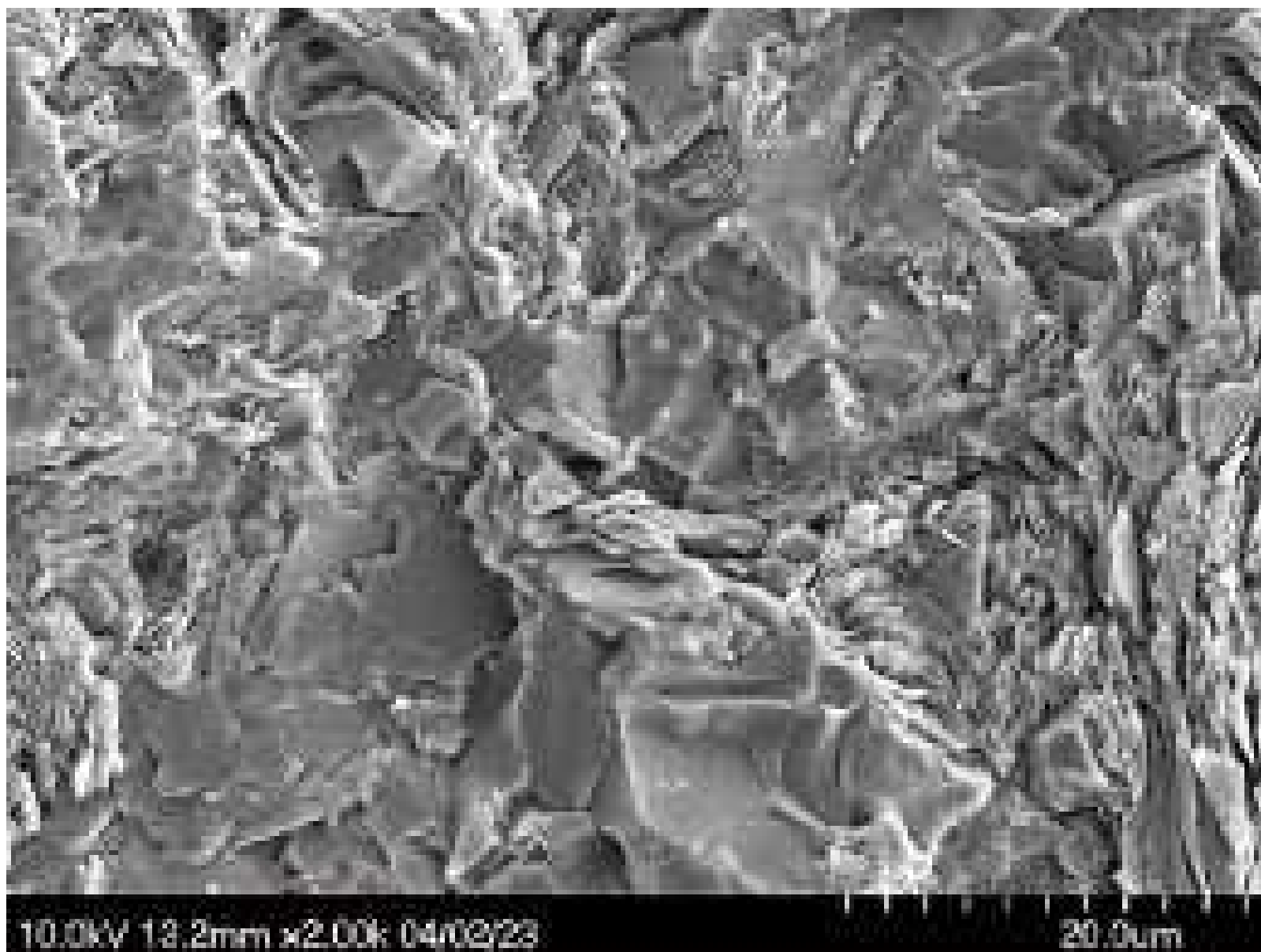
意見交換・相互批評 (ICTを活用した言語活動)

「高1書道 みんなの「道」」- A4横 - (みんなに見せる, みんなと書く) 06 書道作品共有6「みんなの」

<p>力強く、そして優しく見えるために線は太く、字形は丸くなるように意識して書いた。</p> <p>筆の部分が丸まった字で書かれていて面白い工夫だと思った。最後の画が力強くとても綺麗だと思ふ。</p> <p>太さが均一で整った感じを出しながら一画一画の間隔がゆるやかなのでやわらかく感じた感じが素敵だと思いました。</p>		<p>流れるような細くしなやかなで、メリハリのある線を書くことができた。本来つながっている線も、分けて書くことで、躍動感をあらわした。</p> <p>独特な書風で、流動感がありながらも力やかまを帯びている字であると感じた。字のひびのびとしていても良いと感じた。自分にはない書風で参考にした。</p> <p>かすめる字体でアクティブな字になっています。今にも動き出しそうな楽しい書体です。 1E6金</p>
<p>楷書に近いような書体を目指し、太く安定した線になるようにした。しかし、独自性も入れようと筆先の払いの意図にして、楷書の安定感を残しつつ、他とは少し違う線になったのかな、と思ふ。</p> <p>太い線によって量感感がうまく表現されていて、最後の払いの意図で他にはない独自性が表現された道になっていていい。 1E内書</p> <p>一画一画、深くとがった字体になっていて強い感じが表現されていていいなと思った。</p>		<p>どっしりと重みのある「道」となるように、太く横線を書いた。また、しんじりの勢を上げを自分なりに工夫し、他とは違う「道」にした。</p> <p>しっかりと重みのある形で書いていると思います。素晴らしい感じが出ていていいと思います。</p> <p>強く書くしっぴりかけていていいと思います。線が全体的に丸くなっていて流れるような感じが出ていていいと思います。</p>
<p>自信をもって自分の道を述べるという意図込み、太く強い道を書いた。太さの調整がいった字を書くことができた。</p> <p>堂々とした、力強い道という印象を受けました。その中にもほっそりとした優しい部分があり、表裏一体の面もあると考えました。とても想像を深められる興味深い作品です。</p> <p>とても力強く、自信を持ち、堂々とした道になっていてとても平井君感が出ていて面白い。</p>		<p>流れるように、さらさらとした「道」を表現したいと思って書きました。軽い感じが表現できたと思います。</p> <p>川のように流れるような筆の運びをしつつも全体のバランスを崩さず、整った形をしていて美しい。</p> <p>それぞれの画が、次の画につながって書かれていていいと思いました。特に、1画目と2画目、1画目の太さと形がとてもきれいです。</p>

高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

硯面の電子顕微鏡拡大画像



高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

感じ方や捉え方の共有, 個々に設定した課題の共有

「高1書道 鑑賞」- A4横 - (みんなに見せる, みんなと書く) 03 書道F

文字の水さ、墨のかし具合など書風に富んだ書だと思ふ。また、ほとんどの画がつながって書かれており字の流れを感じた。

筆力が強く、サラッとした印象を受けた。全体的に柔らかな用筆だと思ふ。

あまり角ばっていないが、丸みを感じ、神の最後の画すばっと。

一画一画がつながっていて線が流れるイメージ、曲線ばかりで柔らかさがある。

全体的に丸くやわらかい印象。

漢字にあるかくかくした感じがあまりないなと思った。抜くところは抜いて、入れるところは入れている。

流れるように書かれた感じが、つながりが多く見え、流れるような印象を受けた。

変化に富んでおり、筆線がある。力と速さを兼ね備えた作品だと思ふ。

「神」の字の最後の画が思いきりのびでとてもインパクトのあるかっこいい字だと思ふ。「神」はやわらかく書きすらすらそうだと思ふ。

第一印象

課題をつけること。画と画とのつながりを意識して、「さらさら」という音が聞こえてきそうなくらい流れて意識して書く。 75%

楷書から抜ける、緩く書く、筆の運びを意識する 大 70~80%

つながりを意識して、脱線書。 60%

曲線の意識をもって角ばった形を脱線する。前問から引き続き、速さと筆線にも意識したい。 70%

やわらかさと流れを再現できるようにする。 90%

筆力が課題、腕を大きく動かして書く。 50%

字の流れを見失わないように筆の勢を感じつつ筆線をつけて書く。

流れとこの美しさを伝えるが 70%

スピード感をもって、流れるような用筆を意識する。 90%

筆を早く動かして流れるように意識する。

全部の字を筆線ではなく曲線で表現できるようにしていきたい。 80%

今回の課題は筆線である。自分の持ち味である字の柔らかさや筆線が短ければインパクトのある書体になると思う。 80%

解決したい課題/達成度

インターネットの活用

多様な表現

硯面の電子顕微鏡拡大画像

接することができない資料
実物では味わえない世界

インターネットを活用した表現(創作)活動

個性・創造性

意見交換・相互批評 (ICTを活用した言語活動)

「高1書道 みんなの「道」」- A4横 - (みんなに見せる, みんなと書く) 06 書道作品共有6「みんなの道」

力強く、そして癒しを感じるために線は太く、字形は丸くなるように意識して書いた。

筆の部分が丸まった字で書かれていて面白い工夫だと思った。最後の画が力強くとても綺麗だと思ふ。

太さが均一で整った感じを出しながら一画一画の間隔がゆるやかなのでやわらかく感じました。

楷書に近いような書体を目指し、太く安定した線になるようにした。しかし、独自性を入れようと筆先の払いの意図にして、楷書の安定感を残しつつ、他と少し違う道になったのかな、と思ふ。

太い線によって重厚感がうまく表現されていて、最後の払いの意図で他にはない独自性が表現された道になっていていい。[内容]

一画一画、

流れるように細くしなやかに、メリハリのある線を書くことができた。本来つなっている線も、分けて書くことで、躍動感をあらわした。

独特な書風で、流動感がありながらも力やかまを帯びている字であると感じた。字のびのびとしてとても良いと感じた。自分にはない書風で参考にした。

かすめる書体でアクティブな字になっています。今にも動き出しそうな楽しい道です。 [1名金]

どっしりと重みのある「道」となるように、太く横長に書いた。また、しんじょうの勢を上げを自分なりに工夫し、他とは違う「道」にした。

しっかりと重みのある形で書いていると思います。美しい感じが出ていていいと思います。

丸く書くしっとりかけていていいと思います。線が全体的に丸くなっていて流々ような筆勢が出ていていいと思います。

流れるように、さらさらとした「道」を表現したいと思って書きました。軽い感じが表現できたと思います。

川のように流れるような筆の運びをいつも全体のバランスを崩さず、整った形をしていて美しい。

それぞれの画が、次の画につながって書かれていていいと思いました。特に、1画目と2画目、1画目の太さと形がとてもきれいです。

リアルタイムでの共有・対話・交流

ICTを活用することで...

リアルタイムでの共有・意見交換が可能。
生徒個々の個性や創造性に応じた学習に有効。

用具・用材の特質・特性を体感したり、
実物と直接向き合ったりする学習活動

学習内容やその段階に応じて適切に関連付けながら
効果的に指導できるよう工夫

ICTを活用する学習活動

高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

生徒を教卓回りに集めての直接示範



示範動画を大型提示装置に提示, 学習者用コンピュータへ配信



ICTを活用することで・・・

自身の学習過程・思考過程はもちろんのこと, 教師による個人および集団に対する指導を, **生徒個々のペース**で振り返り, **繰り返し確認**することで, 自らで**思考を深め**ながら学習を進めることが可能。

運筆・線質に関わる指導内容 (**遅速・緩急・抑揚・呼応等**) への理解を, 生徒が**主体的**に深めることが可能。

書道の学習で重要な**運動性や時間性**について, スロー再生等の機能を使って理解を深めることが可能。

書道におけるICT活用上の留意点

ICTによる画像や動画では, **書の多様な美や書の特性**に大きく関わる**筆者の性情, 呼吸, 息づかい等**は伝えづらい。

ICTの利点を生かし, 従来の指導・学習の方法と併用するなど, **書の特性**に応じたICTの効果的な活用の工夫が必要。

高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

生徒を教卓回りに集めての直接示範



ICTの利点を
生かした転換

書の特性に応じた
工夫(併用)

示範動画を大型提示装置に提示，学習者用コンピュータへ配信



ICTを活用することで・・・

自身の学習過程・思考過程はもちろんのこと，教師による個人および集団に対する指導を，**生徒個々のペース**で振り返り，**繰り返し確認**することで，自らで**思考を深め**ながら学習を進めることが可能。

運筆・線質に関わる指導内容（**遅速・緩急・抑揚・呼応等**）への理解を，生徒が**主体的**に深めることが可能。

書道の学習で重要な**運動性や時間性**について，**スロー再生等の機能**を使って理解を深めることが可能。

書道におけるICT活用上の留意点

ICTによる画像や動画では，**書の多様な美や書の特性**に大きく関わる**筆者の性情，呼吸，息づかい等**は伝えづらい。

ICTの利点を生かし，従来の指導・学習の方法と併用するなど，**書の特性**に応じたICTの効果的な活用の工夫が必要。

高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

生徒を教卓回りに集めての直接示範



ICTの利点を
生かした転換



書の特性に応じた
工夫(併用)

示範動画を大型提示装置に提示，学習者用コンピュータへ配信



ICTを活用することで…

自身の学習過程・思考過程はもちろんのこと，教師による個人および集団に対する指導を，**生徒個々のペース**で振り返り，**繰り返し確認**することで，自らで**思考を深め**ながら学習を進めることが可能。

運筆・線質に関わる指導内容（**遅速・緩急・抑揚・呼応等**）への理解を，生徒が**主体的**に深めることが可能。

書道の学習で重要な**運動性や時間性**について，**スロー再生等の機能**を使って理解を深めることが可能。

書道におけるICT活用上の留意点

ICTによる画像や動画では，**書の多様な美や書の特性**に大きく関わる**筆者の性情，呼吸，息づかい等**は伝えづらい。

ICTの利点を生かし，従来の指導・学習の方法と併用するなど，**書の特性**に応じたICTの効果的な活用の工夫が必要。

高等学校芸術科(書道)の指導におけるICTの活用例

生徒を教卓回りに集めての直接示範



ICTの利点を
生かした転換

書の特性に応じた
工夫(併用)

示範動画を大型提示装置に提示，学習者用コンピュータへ配信



ICTを活用することで・・・

自身の学習過程・思考過程はもちろんのこと，教師による個人および集団に対する指導を，**生徒個々のペース**で振り返り，**繰り返し確認**することで，自らで**思考を深め**ながら学習を進めることが可能。

運筆・線質に関わる指導内容（**遅速・緩急・抑揚・呼応等**）への理解を，生徒が**主体的**に深めることが可能。

書道の学習で重要な**運動性や時間性**について，スロー再生等の機能を使って理解を深めることが可能。

書道におけるICT活用上の留意点

ICTによる画像や動画では，**書の多様な美や書の特性**に大きく関わる**筆者の性情，呼吸，息づかい等**は伝えづらい。

ICTの利点を生かし，従来の指導・学習の方法と併用するなど，**書の特性**に応じたICTの効果的な活用の工夫が必要。

音楽, 図画工作, 美術, 工芸, 書道の 指導におけるICTの活用について